

# 防火作文の部

## ☆ 最優秀賞

### 『火災への意識』

野塚小学校 六年 新海 真生

私は本物の火事を見たことがあります。

とても遠くからですが、空まで大きな黒い雲がもくもくと立ち登って、少しかだけ赤い火の先が見えました。

私はそれを見て、

「自分の家じゃなくてよかった。」

と、ホッとしてしまいました。他人事ではないと思います。

「マッチ一本火事の元」という言葉があります。例えば、マッチ一本、タバコの火一つでも、火事にならないわけではないので、大人も子供も一緒に予防しないといけません。

家の中での火事だけに限定しても、色々なことが考えられます。

予防の方法としては、「火災報知器をつける」や「消火器を玄関などの使いやすい所に置く」など、他にもたくさん予防方法があります。

ですが、一番大切なのは、一人一人の普段からの予防しようとする気持ちです。

意識が変われば、予防の方法などを変わってくると思いますが、必ず予防できるわけではありません。

仮にもし、火事になってしまっても、一度火の元から離れて落ちつくことも大切です。

消せる程度の小さな火で、消火器があるのなら、その消火器を使って火を消して下さい。

消火器が無い場合は、火の上に何かをかぶせて、空気が入らないようにすると良いと習いました。

ですが、「とても消せない。」と思つたら、ハンカチなどを口や鼻にあてて身を低くして逃げて下さい。

火事が起きた時は、あまり窓やドアを開けないで下さい。空気が入ると火ははげしく燃えるので、余計に火が大きくなります。

部屋に残されてしまった場合は、体と部屋全部に水をかけたり、口にハンカチをあてたりして、煙を吸わないようにしたりします。

そうして救助を待つて下さい。

「備えあれば憂いなし」です。私は、授業で火や火事に対しての知識をつけました。火災のことを知り、

普段からの火の元に気をつけるようになりました。

私は、この作文を読んでもらって、少しでも火への意識が変わってくれたらと思つています。

# ☆ 優秀賞

## 『身近な防火活動』

野塚小学校 六年 古 関 杏 菜

私の身近では防火や、火事が起きた時にどのようなするかを、学校や消防クラブ、家などで訓練したり呼びかけています。

まずは学校で行っている防火活動は二つあります。一つ目は、理科の実験で火を使う時に、燃えやすい物を近くに置かないことです。燃えやすい物を置いておくと火が燃え移って火事になることもあるからです。

二つ目は、火の用人を呼びかけることです。

私は消防クラブという、広尾消防署の方々と防火や火事が起きたらどうするかということ学ぶクラブに入っています。ここでは、放水体験や火の用人などについて学んでいます。その消防クラブは、町の人々に火の用人を呼びかけ、火事を起こさないようにする活動もしています。呼びかけは「マッチ一本火事の元」などと呼びかけています。

火事が起きてしまったらどのようなにするかも学んでいます。

一つ目は避難訓練で、避難する練習をしています。

二つ目は消火器の使い方を練習しています。火事が

起きてしまった時に正しく使えるよう訓練しています。

私の家庭でも避難する時にすぐ逃げられるようにしています。それは、足元に物をあまり置かないことです。なぜなら、いざ逃げる時に邪魔になり逃げ遅れてしまうからです。母がいつも「足元に物を置かない。」としつこく言っていたのはそういう意味とわかつてとても良かったです。これからも足元に物を置かないようにします。

他にも消火器がすぐ使えるように取りやすいところに置いたり、料理中に火を使う時にはぬれないようにしています。

これからも今まで行ってきたことをいかし火の扱いを気を付けて、防火を意識し、火事が起きた時は安全に避難したいです。

# ☆ 優秀賞

## 『火災、焼死事故を起こさない為に』

広尾小学校 六年 柏 原 明 奈

私は、三年前の東日本大震災があつた三月十一日から、火災や焼死事故について考えるようになりました。大丈夫だろうと逃げなかった人。足・腰が悪く逃げら

れなかつた人。たくさんの方が亡くなりました。地震や火災、焼死事故もいつ起こるかわかりません。

『ここは、安全だから』

この考えが一番、逃げ遅れる人が多い原因になっていると思います。火災でなくしても、

『私、僕の家は、火災、地震が起きたら逃げる場所は決まっている』

その考えが大切だと思います。学校で火災が起きて、先生がいるから安全確認が出来ます。でも、家に誰もいない時は？そう考えると日頃から家族で話し合うことが必要になってくると私は思います。

でも、その前に自ら気をつけなければいけません。どんなに決まり事をつくっていても火遊び等をしてしまい火事になれば、決まり事をつくった意味がなくなってしまう。子供であれば、花火等は大人と一緒にやるなどの気持ちが大切だと思います。もう一つは、火災感知機を設置することです。私は、高齢者の家に設置すればいいと思います。高齢者の家に設置すればいいと思う訳は、火災に早く気づき避難出来ると思うからです。ニュース等で高齢者の焼死事故をたくさん見るようになり、感知機を設置していなかった。というのが多く報道されていたからです。

これらの事から今の私に出来ることは、家族と日頃から話し合いをする事。そして、私自身が火災、焼死事故から身を守るように注意することが大切だと思います。

## ☆ 優秀賞

『火事が起こる原因について』

広尾小学校 六年 岸 田 恵 梨

みなさんは、火事は何が原因で起こると思いますか。火事は、料理をしている時や、花火など、子供がふざけて火遊びをしている時さまざま原因で火事になってしまいます。

私は、火事にならないように気をつけていることがあります。それは、料理をしている時に火の消し忘れや、火から目をはなさない事です。花火をしている時に、気をつけている事は、火で燃えてしまう物が近くにないか、人が前にいないかを気をつけています。あと、必ずバケツを近くに置いています。

次に、火遊びが原因で火事になってしまう説明をします。

火遊びは、決してふざけてやってはいけません。子供だけにかぎらず、軽い気持ちでイタズラをすることが、大きな火事の原因につながってしまいます。マッチ、ライター、チャッカマンなどで、イタズラ気分ですぐに火をつけてしまうと、あっという間に火の広がりが大きくなり、大量の水ですばやく消さないと、大きな火事になってしまいます。そうになると、周りの

建物や自然もこわしてしまうこともあります。もしかしたら、関係のない人の命までうばってしまうこともあります。それに、自分でやった火遊びで、自分の命もとられてしまう可能性もあります。

なので、みなさんも火遊びには気をつけましょう。

火事が起こるきっかけは、周りのかん境が悪くても、火事になりやすいので、みなさんも火事には気をつけましょう。

私は、これからも、火事を防ぐために、最初に言った火がある周りに燃えてしまう物はないか、火を消しわすれていないか、などに気をつけようと思います。みなさんも、火事が起こる原因について考えてみてください。

## ★ 佳作

### 『火事を予防するために』

野塚小学校 六年 横山 楓 月

僕たちの暮らしの中で火は無くってはなりません。しかし、その火にも多くの危険があります。火は火事の元でもあります。その火事を無くすために家や学校で色々なことをしています。

家では、みんながいなくなる時、キッチン等の火の周りの点検をしています。また、普段は気にしていない所も危険がひそんでいます。例えば、夏の暑い時などに使用するせん風きもコンセントにはこりがたまる火がつく「トラッキング」と言う現象が起きます。この現象はどの電化製品でもおこります。そこから火事になることもあるので、細めなそうじが必要です。家の外でも危険な事があります。タバコのポイ捨てはとても危険です。もし、火がしっかり消えていない状態で捨てると、草木に火がついて火事になってしまいます。ですからポイ捨てはしないようにしてください。

学校で僕たちは、火の用心を地域に呼びかけています。とくに、アイロン、寝タバコをよびかけています。アイロンは電気をつけたままおいておくと服に火がついて火事になってしまいます。寝タバコは、火がついたまま寝てしまうとタバコの火が燃えやすい物にうつり、火事になってしまいます。そのようなことが起きないように呼びかけています。みなさんも火事にならないように何か予防してみてください。

勉強面でも紹介すると、家庭科で火を使う時には火から目をはなしたり、どこかへ行ったりしないようにしています。もしもどこかへ行ったり目をはなしたりしてしまえば火が広がってしまうと、火事になってしまいうからです。理科の実験でも、マッチなど火を使うこ

とがある時は水の入った灰皿やぬれぞうきんがあると万が一の時にすぐに火を消すことができます。また水の入った灰皿があると、燃えかすの処理ができるからです。どちらも燃えやすい物を近くに置かないようにしています。

僕はあらためて火事にならないように予防し、気をつけて火を使おうと思いました。

みなさんも今紹介したことを参考に予防してみてください。火事を無くして安全なくらしをしましょう。

## ★ 佳作

### 『火事にならないように』

広尾小学校 六年 永守 優希

身の周りには、火事の原因になるものが、たくさんあります。その火事を防ぐためにどうすればよいのかということと火事の原因について考えました。

最初に、火事を防ぐためにどうすればよいのかということについて考えました。

私は、日ごろから火の周りに燃える物を置かないように心がけたり、花火をする時には、消火用にバケツを用意したりして火事にならないようにしています。

他にも料理をしている時は目を離さないようにしたりと、とても気を使っています。私は、これから、家の周りでは、火事になりやすいので、家の周りは、整理整頓をするようにしたいです。

次に私は、火事の主な原因について考えました。私は、放火や、こんろ、タバコだと思いました。放火は冬から春の時期が多くて、そして、深夜が多く、人通りの少ない街路灯などがないなどの場所で発生しています。こんろは、火の消し忘れが主な理由で、特に天ぷら油の火災です。タバコは、火の消し忘れ投げ捨て、寝たばこが多いです。

最後に、もし、火事になったらどうすればよいのか、考えてみました。私は、火事で、発生する煙には、有毒ガスが含まれているからとても危険だと思います。その、有毒ガスから身を守るには、火災の出ている部屋の戸は閉めたり、タオルや、ハンカチをぬらしたりして煙を吸うのを防いだりします。他にも、姿勢を低くして逃げたりするのもあります。

これらのことから、火事を防ぐには、火を使っている時には、目を離したり、火のついたものを捨てたりはせずに、火を使っている所から離れず、離れる時はしっかり火を消して、正しい取扱いをすることが大切です。

# ☆ 佳作

## 『防火が必要な理由』

広尾小学校 六年 三 上 采 音

みなさんは、火をあつかう時、どんなことに気をつけていますか？私は、料理をしている人や火をあつかっている人に話しかけないようにしています。というのも、実体験があるからです。

おばあちゃんが晩ご飯を作っているとき、弟が盛んに話しかけて、よそみをしていたのです。するといきなり、フライパンから火が出て、おばあちゃんは急いで外へ行き、フタをしてしばらくそのままにしておきました。弟との話に熱中するあまり、火をつけているのを忘れていたのです。

このように、どんなささいなことでも、火災の原因は起こるといことがわかります。では、防火のためにもどのようなことが必要なのでしょうか。

まず、料理をしている人に話しかける必要のあるときは火をあつかっていないか確認することです。それだけでも十分な火災対策になります。

次は火がでてしまった場合についてです。フライパン、油を使用している物(天ぷら鍋など)から出火したとき、水はかけずに外へ持っていき上からフ

タをすると火は消えやすいです。

そして、私が言いたいのは、防火をすることによって、「自分の命だけでなく、家族や他人の命が守られる」ということです。一人が火災の原因に気をつけられれば、何人もの人の命が助かるからです。私は、理科の授業でもアルコールランプをあつかうときに使い方を間違えないように最善を尽くしています。

これからも、周りの環境や場所に細心の注意を払いたいと思います。

# ☆ 佳作

## 『火災予防への道』

広尾小学校 六年 村 野 百々

私が、四年生のころ私達は火災を目にしました。その時火災があつた家は私の家から、少し近くの家でした。私は、家にはだれもいないことはわかっていても空に上がる炎を見てみると「自分の家が燃えているのではないか」と考えてしまいました。私はこの時、始めて、火災を目にし、また、始めてそこまでにおそろしい火をみました。

それから、私は避難訓練などの活動を、心から行う

ようになりました。他にも少年消防クラブに入り活動したり、学校などで火災が起きた場合、どうすればよいのかしっかり考えています。

特に、私は、少年消防クラブで行う、火災予防街頭PRを積極的に取り組み町民の皆さんに声をかけています。この活動はフクハラなどの前に立ち買い物へきた人々に火災予防を呼びかける活動です。これを行うことで、日々の生活の中でも町民の人々に火災予防を心がけてもらうことができます。

私は、このような行いを通して、家族や、友達、地域の人々への火災の被害がもっとすくなくなつてほしいと思っています。

## ☆ 佳作

### 『火災が起こる原因』

広尾小学校 六年 樋口 英何

私は火災が起こる原因について四つお話します。一つ目は、コンセントです。コンセントにほこりやゴミがたまっていると、そこに火がつくことがあるので、コンセントのまわりは、日ごろからそうじしておくことが大切です。たくさんプラグをいっぺんにつな

いだり、コンセントが古くなると、熱をもつことがあるので危険です。二つ目は、コンロです。コンロでてんぷらなどのあげ物をするときは、少しの間でも目はなさないことが大切です。また、火からはなれるときは、かならず火をけさなくてはいけません。コンロの火が衣服のそで口につかないように気をつけなくてはいけません。三つ目は、ストーブです。ストーブは火がついた状態では動かしてはいけません。また、せんたく物や紙など、燃えやすいものは、ストーブから十分にはなしておかなければいけません。スプレー缶などはストーブのそばに置かないようにしなくてはいけません。最後の四つ目はたばこです。たばこの消し忘れはもちろん、灰皿にすいがらがたくさんたまってると危険です。家族や大人が寝たばこやたばこの火の不始末をしていたら注意をしてあげなくてはいけません。

私は、身近な所でも火事がひそんでいるということがあったので日ごろから火や電気に関しては、気をつけていきたいと思えます。今回の火災のことに関しては、家族とも話し合ってみようと思えます。

# ☆佳作

## 『防火』

広尾小学校 六年 田中 楓

近年、火災や焼死がけっこうあります。では、火災を防ぐためにはどうしたらよいのでしょうか。

学校では、消火器や火事になったときの集合場所を写真にとり廊下にはるなどの火災のための対策が十分にありとても安心です。それに、火災や災害などの訓練をしていて本当にそうだったときにすぐに対応できるようになっていきます。しかし一般家庭には、できないことも多数あります。なので、家庭ではみんなが火に気をつけたいと思います。

でも、各家庭にもそういう時のためのものがあります。私の家はベランダから下に降りるはしごがありません。そして、階段の所に消火器があります。

このように、様々な場所には色々な命を守る工夫があります。一番いいのはみなさんが火を安全に使い、注意することが大切です。

私は、この作文で一つでも火災が減ればいいと思います。

# ☆佳作

## 『火災を防ぐ』

広尾小学校 六年 田中 杏樹

まず最初に火事は何のような事が原因で起こるのかを書きます。一つ目はしっかりと火が消えてなくて何かに燃えうつり起こります。燃えうつらないためにはしっかりと火を消すことが大切です。2つ目は火を使っている時に、布や紙など燃えやすい物が近くにあっていたりして火災が起こります。みなさんも、火を使っている時に、近くに燃えやすい物をおかないようにしたり火を使っている時は、ぜったいに目をはなさないようにしましょう。

次は、火災のおそろしさについて書きます。そもそも火災とは、火が布などに燃えうつってそれがどんどんと広がっていく、火災が起こります。私は消防クラブをやっているのだからしっかりと学んできたことを本当の火事がおこった時には生かしていきたいです。

三つ目は火事を起こさないためにはどうすればいいかです。火事は火遊びや火の消し忘れなどが原因でおこります。もし火事が起こってしまったら、消防車をまずよび少しでも早く消すことが大切です。急に火事になってもすぐに対応できるように、避難訓練や消防クラブなどをやって火事とはどういうものなのか



をしつかりと知っていれば、万が一火事が起こっても火事に対応できると思います。みなさんも火事が起きた時のために日ごろからどの番号にかけたいのか、どうしたら、少しでも早く火を消せるかななどを確認しておくことが大切です。私は少年消防クラブに入っているので小学校のうちから火事のおそろしさを火事はどのようにして起こるのか消火器や消火栓などの場所などをしつかりとこの少年消防クラブで学んでいって万が一火事が起きてもすぐに対応できるようにしていきたいです。